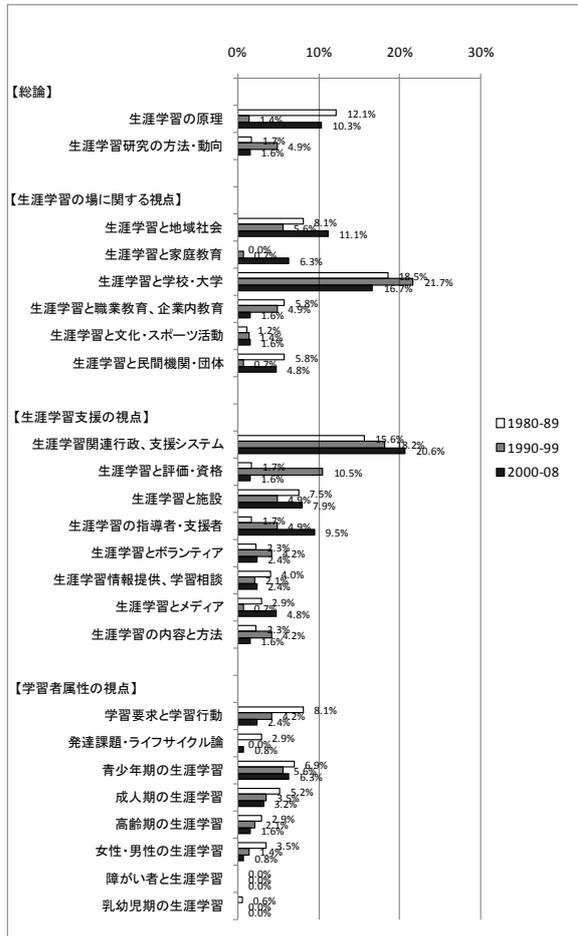


図表1 『年報』における特集テーマ

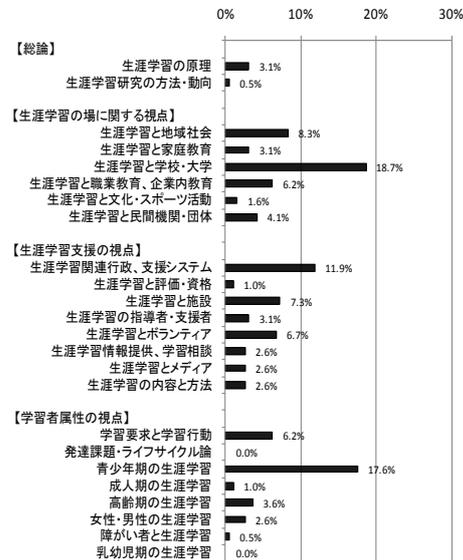
号数・年度	特集テーマ	備考
第1号(1980)	生涯教育の展開	※ I 生涯教育の制度化 II 生涯教育施設の開発 III 教育施設の再編成 IV 地方創造と生涯教育 V 生涯教育論の思想的系譜 の5つの小テーマ
第2号(1981)	生涯教育体系の構想	※ I 生涯教育化の理論と試行 II 発達課題と生涯教育 III 女性の課題と生涯教育 IV 学校の生涯教育的再編成 V 成人教育制度の諸問題 の5つの小テーマ
第3号(1982)	生涯教育と学校教育	※ I 生涯教育的学校論 II 生涯教育と学校—事例研究— III 資格体系と学校 の3つの小テーマ
第4号(1983)	生涯教育と社会教育	
第5号(1984)	地域の中の生涯学習	
第6号(1985)	生涯教育の推進システム	
第7号(1986)	生涯教育論(研究)に問われるもの	
第8号(1987)	民間生涯教育事業の現状と課題	
第9号(1988)	生涯学習社会と高等教育への期待	
第10号(1989)	生涯学習社会の総合診断	
第11号(1990)	諸外国の生涯教育 —理念、現状、展望—	
第12号(1991)	生涯学習援助方式の設定	
第13号(1992)	生涯学習の新展開	
第14号(1993)	生涯学習社会とボランティア	
第15号(1994)	生涯学習と資格	
第16号(1995)	大学改革と生涯学習	
第17号(1996)	学社融合の生涯学習	
第18号(1997)	生涯学習の施策と環境の総点検	※〈生涯学習政策の展開〉 〈学習ニーズの変化にともなう学習機会の整備〉 〈社会変動に対応した学習環境の変容と施策〉 〈学習成果の活用〉 の4つの小テーマ
第19号(1998)	生涯学習を支える研修	
第20号(1999)	生涯学習研究の課題を問う	※特集の一部は〈生涯学習の研究と実践の相互関係をどう考えるか〉
第21号(2000)	情報化の進展と生涯学習	※第2特集 生涯学習 21世紀の課題(学会20周年記念シンポジウム記録)
第22号(2001)	生涯学習と教育改革の時代	
第23号(2002)	学力問題と生涯学習	
第24号(2003)	生涯学習と公共性	
第25号(2004)	新しい時代の生涯学習支援者論	
第26号(2005)	変革期における生涯学習推進 —研究・行政・実践の課題とアイディア—	
第27号(2006)	生涯学習のさらなる飛躍をめざして	
第28号(2007)	いつでもチャレンジ可能な社会の生涯学習	
第29号(2008)	法改正をめぐる生涯学習の新たな基盤整備	
第30号(2009)	生涯学習研究30年 —軌跡と展望—	

図表2 『年報』・『論集』における研究主題の傾向とその変化

○『年報』第1号～第30号



○『論集』第19号～30号



注：『年報』で対象とした論考は、1980～1989年：173本、1990～1999年：143本、2000～2009年：142本である。論考としてカウントしたのは、「特集」、「第〇回大会の論議をふまえて」等の学会大会記録に準ずるもの、「自由研究」（「自由投稿」）、「研究ノート」、「諸外国の生涯教育」、「各地の生涯教育（の動向）」、「会員寄稿」（第3、7号）、「生涯教育の現状に関する実証的研究」（第4号）、「生涯教育文献調査」（第7号、ただし文献調査の目録のみの号は除く）、「提言」第28～30号）である。巻頭言、「生涯教育文献調査」「資料」はカウントの対象としなかった。

『論集』で対象とした論考は205本である。『論集』については、掲載された全ての研究成果（「自由研究論文」、「生涯学習実践情報」）を、論考としてカウントの対象とした。

図表2 『年報』・『論集』における研究手法の傾向とその変化

○『年報』第1号～第30号

○『論集』第19号～30号